

第125回免疫系発生学セミナー

ANDREA BRENDOLAN 博士

San Raffaele Scientific Institute, Milan, Italy

Spleen Development: from ontogeny to function

12月15日(水) 16:00~17:30

疾患ゲノム研究センター1階
交流ホール

二次リンパ組織の形成機構を中心に良質の発生生物学研究とその応用に向けた研究を進め、なかでも転写因子Pbx1の脾臓形成における関与を明らかにしている気鋭Brendolan博士を迎えてセミナーを開催いたします。多数のご来聴をお待ちしております。なお、本講演は、大学院特別講義および感染・免疫クラスター特別セミナーを兼ねます。

Immunity. 2007;27:952-964.
Dev Biol. 2006;300:748-757.

Bioessays. 2007;29:166-177.
Development. 2006;133:2263-2273..

問合せ: 疾患ゲノム研究センター生命システム形成分野(大学院医科学教育部免疫系発生学)
高浜洋介 (x9452, takahama@genome.tokushima-u.ac.jp)

徳島大学ゲノム研究センター遺伝子実験施設第百五拾五回特別講演会